

# クラス青山/ツクイ・ののあおやま/ののあおやまショップ&レストラン

事業主：青山共創(東京建物、三井不動産、三井不動産レジデンシャル)  
設計者：ランドスケープデザイン監修:ランドスケープ・プラス  
樹種選定アドバイザー:東京農業大学客員教授 濱野周泰  
デザイン監修:隈研吾建築都市設計事務所  
設計:KAJIMA DESIGN/ランドスケープデザイン(外構実施設計協力)

施工者：鹿島建設株式会社東京建築支店  
所在地：北青山三丁目4番3号  
施設用途：共同住宅(賃貸)、サービス付高齢者向け住宅、店舗、認可保育所、地域交流施設  
敷地面積：7895.01㎡  
緑化面積：2149.41㎡  
接道部緑化延長：84.65m  
緑化面積率：27.22%  
接道部緑化率：60.29%



## 選定にあたっての評価コメント

約0.4haの公開緑地を使って細かな計画の下に、このみどりのまちづくりの求める要件を満たしている作品と言ってよいだろう。さらに付言すれば全体としての清潔感と植物たちが発する生き生きした活力であろう。植栽の面でいえば高木、中木、低木、湿生植物までのバランスの良さは自然地の風景の再現効果を発揮している。この場へ足を踏み入れると、人工的空間でありながら天然の自然地に身を置いている気分を覚えさせ大都市東京の一角であることを忘れさせてしまう。さらに付言するならば、この場所全体から感じさせる清潔感と植物の葉先まで行き届いた生命力である。また自然学習の場としての芝生スペースを設けたのも好感が持てる。100年後を見据えた自然回帰のまちづくりをコンセプトにしたようだが、現実問題として100を数える長寿社会の実現を期待したい。



# WATERS takeshiba (ウォーターズ竹芝)

事業主：東日本旅客鉄道株式会社  
設計者：株式会社JR東日本建築設計  
外構設計協力：株式会社ランドスケープデザイン  
施工者：清水建設株式会社  
所在地：海岸一丁目10番30号他  
施設用途：ホテル、事務所、店舗、劇場等  
敷地面積：21032.09㎡  
緑化面積：4330.44㎡  
接道部緑化延長：282.17m  
緑化面積率：20.59%  
接道部緑化率：68.01%



## 選定にあたっての評価コメント

浜離宮の圧倒的な緑のマツスは、タブノキの群生によるものだが、将軍の庭「浜御殿」の時代には恐らく存在しない。しかしビル群に囲まれた現在では、むしろそれに対抗できる緑の塊として存在感を発揮している。その緑のマツス（庭園の構成と関係のない）を取り込むことで、いわば浜離宮の「裏」だった空間がこの施設によって、「表」に転換している。高層階からの浜離宮の眺め（庭園の構成に関わる）はさぞかし素晴らしいだろう。つまり浜離宮は「いい眺め」を提供している。しかし浜離宮からこの施設群はどう見えているのだろうか。「いい眺め」を浜離宮の訪問者に提供しているのか。「みどりの街づくり」を考える上で、公開性は常に問われるテーマだが、ニューカマーと地域の人々（在住者、在勤者）の間で「いいこと」の相互の交換が重要な条件だろう。施設内に「ひがた」再生の試みを見た。「ひがた」を通じての地元の交流にも今後期待したい。



# REVZO虎ノ門

事業主：中央日本土地建物株式会社  
設計者：川島範久建築設計事務所(建築)  
中央日本土地建物株式会社(建築・設備)  
平岩構造計画(構造)  
施工者：株式会社 安藤・間  
【植栽】株式会社グリーンスペースオオサカ/株式会社 花門フラワーゲート  
所在地：西新橋一丁目8番1号  
施設用途：事務所  
敷地面積：497.73㎡  
緑化面積：141.47㎡  
接道部緑化延長：47.73m  
緑化面積率：28.42%  
接道部緑化率：52.99%



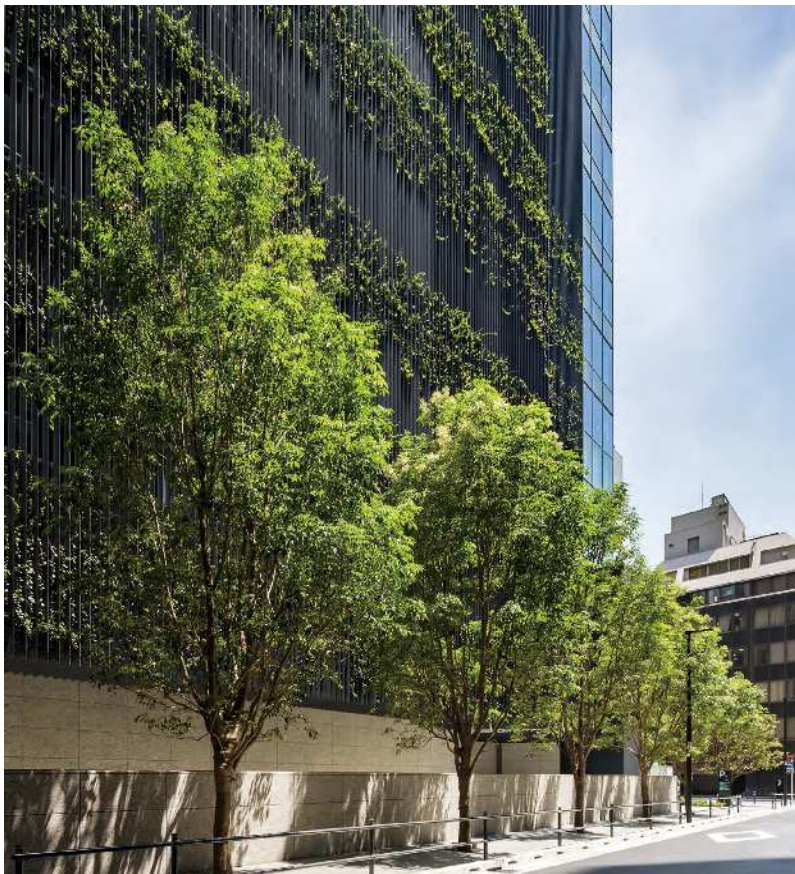
## 選定にあたっての評価コメント

高層化した都市で、人間を含めた生物に憩いを与える緑の在り方を問う本賞に対し、その新しいプロトタイプとなる本質貸オフィスビルを評価したい。特徴的なのは、なんといても地上から11層連続した緑の都市的立面である。外堀通りは、道路幅とその近隣建物によって大きなスケールを持っているが、その中でもこの緑の存在感は圧倒的である。また、その背後に設けられたバルコニーによって、多種多様な樹種によって構成されたその緑は、見るだけでなく、触れ、香り、木陰をつくる、緑の体験空間となっている。さらに、この緑の維持を考慮して設けられたテラスと外部階段を活用したメンテナンス導線のアイデアは秀逸である。また、歩行者スケールに対しては、壁面ラインをセットバックし、その全面を多種多様な樹種で緑化することで、歩道と連続する森のような奥行きをつくり出している。今後、様々な場所で展開していくオフィスブランドとして、高層化した港区の立体緑化の種になることを期待したい。



# 東京虎ノ門グローバルスクエア

事業主：虎ノ門駅前地区再開発組合  
設計者：株式会社 日本設計  
株式会社 三菱地所設計  
施工者：株式会社 竹中工務店  
西松建設株式会社  
所在地：虎ノ門一丁目3番1号  
施設用途：複合施設  
敷地面積：2782.44㎡  
緑化面積：1459.82㎡  
接道部緑化延長：129.74m  
緑化面積率：52.47%  
接道部緑化率：61.93%



## 選定にあたっての評価コメント

外堀通りと桜田通りの交差点の南東角の建物。平日は相当数のオフィスワーカーが往来する交差点になるため、動線の確保と見通しからシマトネリコだけの並木植栽になっている。外堀通り側は地下で地下鉄銀座線虎ノ門とつながるが、虎ノ門駅のホームが狭く敷地側にそのホームを拡張したため、地上部は一見簡単に緑化できそうな雰囲気があるが人工地盤状態のため排水に工夫が必要だったこと。面白いのが南側のポケットパークで、施設規模からすると決して広くはないが、オフィスエントランスから受付ロビー背後のガラス壁越しの眺めが「ポケットパーク+隣地建物の虎ノ門ファーストガーデン」になっていて、虎ノ門ファーストガーデンのメイン景観ではない側面の壁面緑化がうまく借景で生かされる構成になっている。日照が不足する部分の壁面緑化は、緑化面積確保だけぐらいいか存在価値がなかったが、質の良い壁面緑化は借景になる時代になったと感心した。



# 了間

事業主：宗教法人 瑞華院  
株式会社 了間

設計者：無有建築工房 竹原義二  
株式会社ウィッシュワーク設計事務所  
庭園：E-DESIGN 長濱伸貴 / fieldwork 小竹良恵

施工者：大和ハウス工業株式会社 東京本店 / 箱根植木株式会社

所在地：南麻布五丁目1番4号

施設用途：納骨堂

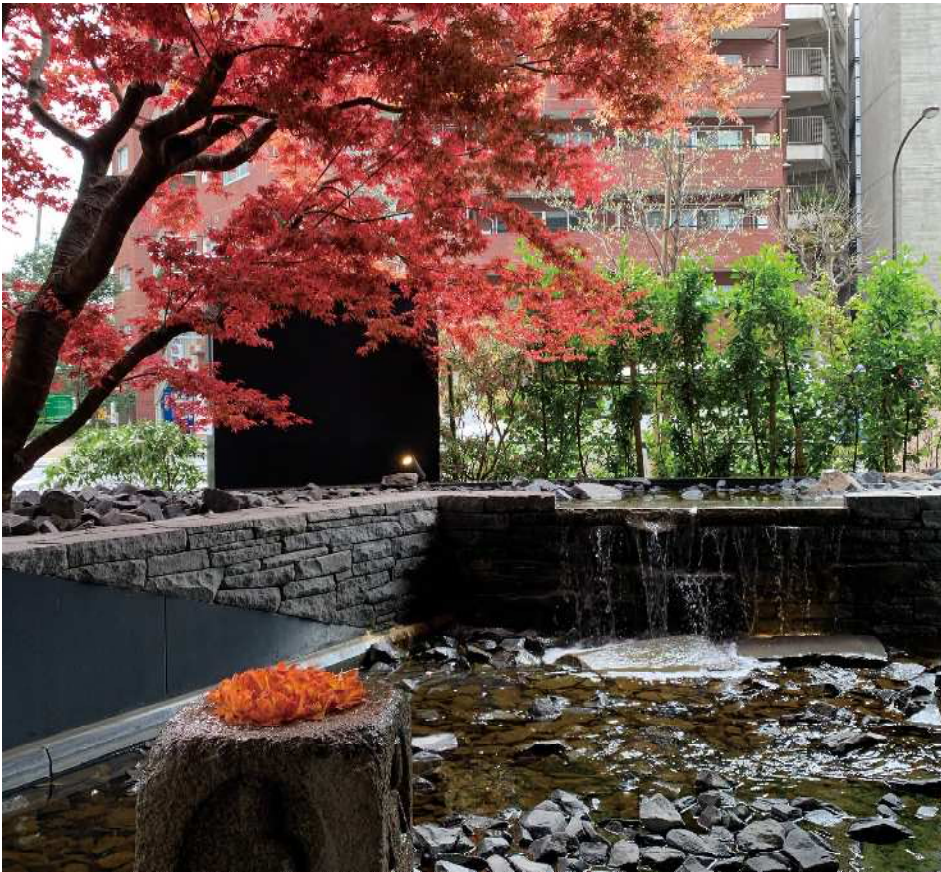
敷地面積：861.36㎡

緑化面積：82.60㎡

接道部緑化延長：28.06m

緑化面積率：9.59%

接道部緑化率：52.76%



## 選定にあたっての評価コメント

外苑西通りに接する瑞華院の納骨堂。建物だけに閉じることなく、周囲の歴史や環境をうまく取り入れた緑地と水施設が設置されている。エントランスホールの「湧水の庭」はこの場所の南東に位置する有栖川宮記念公園の池を做って水庭とし、歴史的な周囲の環境を取り入れたというだけでなく、貴重な鳥の水場の役目も果たし、また、その水の音が道路の喧騒をかき消すようになっている。そして、エントランスとは反対のサービスヤードとして重要視されない部分も「大門の庭」として周囲の景観に調和するように作られている。以前からあった北側の街角広場は、既存緑地のボリュームをコントロールするなど全面改修して「山桃の庭」として再整備され、本施設に訪れる人以外にも気持ちよく利用できるようになった。残念なのが歩道側から「湧水の庭」が見えないことで、分断している生垣を少しだけ開け、水と施設が垣間見えるとところがあればより良かった。

